

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第26週[6月27日～7月3日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>
 E-mail: kansen@ken4.pref.kochi.jp

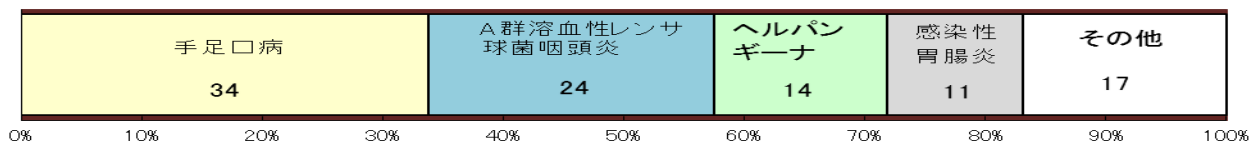
県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患：手足口病，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎，ヘルパンギーナ

- 週を通して晴れの日が多く，気温は30℃を超え真夏日となった地域もあった。
- 手足口病（幡多：警報→警報，高幡：警報，中央東：注意報→警報，安芸：注意報→注意報，高知市：注意報，中央西：注意報→注意報）**は中央西を除く地域で増加し，総数は前週の約1.8倍となった。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（中央東：警報→警報，高幡：注意報→警報，幡多：注意報→注意報）**は前週に引き続き増加し，総数は約1.3倍となった。
- ヘルパンギーナ（中央西：警報→警報，安芸：警報，高幡：注意報）**は安芸，高幡，中央東で増加し，総数はやや増加した。中央西と安芸では警報値を超しており，警戒が必要である。
- マイコプラズマ肺炎（幡多：注意報）**は高知市で流行が続いていたが，今週は報告はなかった。

上位疾患構成図



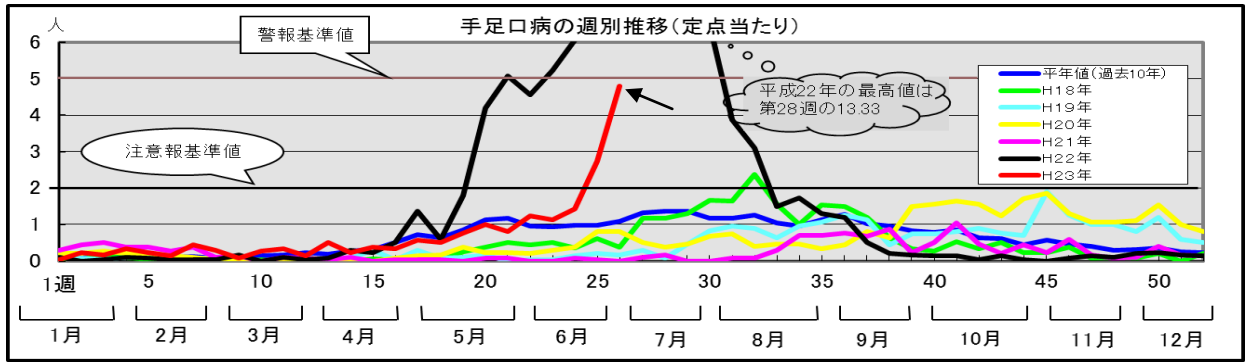
地域別感染症注意報・警報発生状況

第26報（2011年6月27日～2011年7月3日）



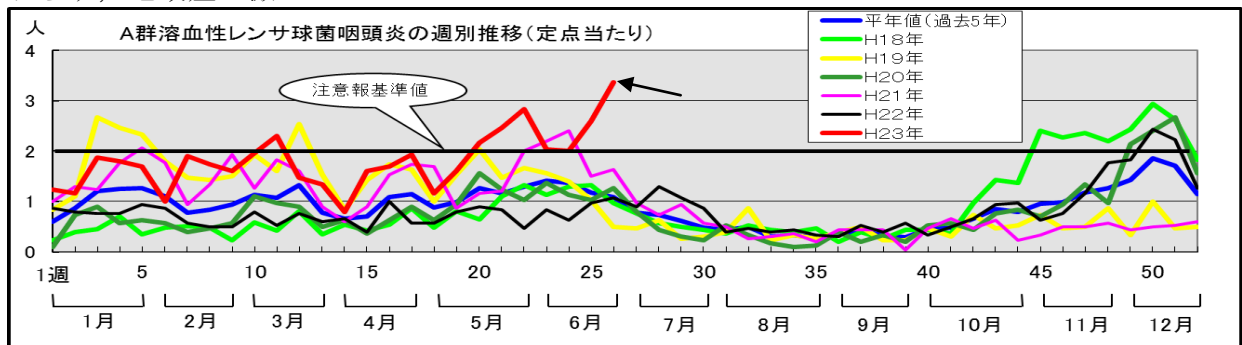
手足口病：今週 4.80（注意報値：2.00 警報値：5.00）

総数は引き続き大幅に増加し，警報値に迫る報告数となった。地域毎にみると全ての地域で注意報値を超しているが，幡多，高幡，中央東で警報値を超している。年齢別にみると4歳以下で約7割を占め，特に1～2歳からの報告が多い。これからが流行の本番となるので，今後はさらに注意が必要である。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：今週 3.37 （注意報値：2.00 警報値：4.00）

特に中央東では前週に引き続き急増しており、警報値を大きく超す流行となっている。高幡でも増加し警報値を超した。幡多では注意報値を超しているが、安芸と中央西では流行はみられておらず、地域差が激しい。



検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
24	脳炎、脳症	3歳 男	高知市	Human bocavirus
24	ヘルパンギーナ	3歳 男	高知市	Parechovirus NT
23	上気道炎	1歳 女	高知市	Rhinovirus
25	腸炎	4歳 女	高幡	<i>Campylobacter jejuni</i>
25	腸炎	2歳 男	高幡	<i>Campylobacter jejuni</i>
25	感染性胃腸炎	9歳 男	高幡	<i>Campylobacter jejuni</i>
26	マイコプラズマ肺炎	5歳 女	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
25	腸炎	4歳 男	高幡	<i>Staphylococcus aureus</i> III
25	感染性胃腸炎	9歳 男	高幡	<i>Staphylococcus aureus</i> VII
25	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3歳 男	高知市	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264

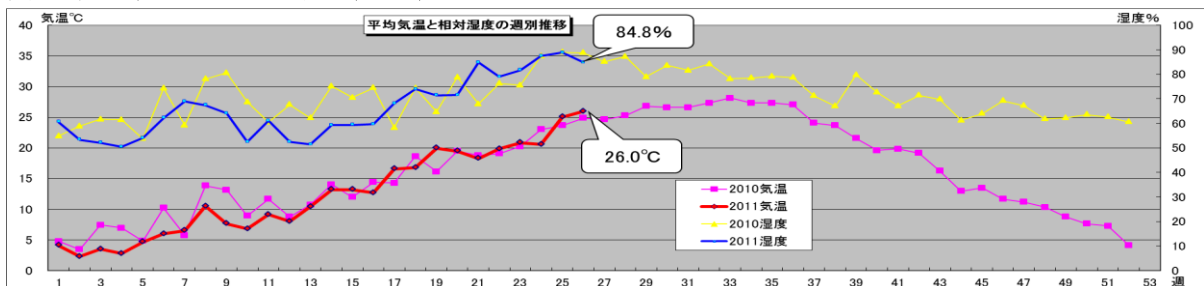
○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 4例（60代男）《幡多》（30代女）《中央東》（70代男，40代女）《高知市》（今年80例）

4類感染症：日本紅斑熱 1例（80代女）《中央西》（今年1例）

5類感染症：ジアルジア症 1例（30代男）《高知市》（今年1例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《幡多けんみん病院小児科》：インフルエンザの1例はB型陽性

《さたけ小児科》：膿痂疹 2例 (5, 8歳男) マイコプラズマ感染症 1例 (3歳女)
カンピロバクター腸炎 1例 (4歳女)

高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの5例はB型陽性、予防接種歴なし (某小学校で集団発生)
滲出性扁桃炎 (アデノウイルス) 2例 (1, 2歳) 帯状疱疹 1例 (4歳女)

中央西：

《くぼたこどもクリニック》：ヘルパンギーナの1例 (2歳女) は県外から帰省
感染性胃腸炎の1例 (13歳男) は高知市
《日高クリニック》：インフルエンザの1例 (15歳女) はB型陽性、予防接種歴あり
マイコプラズマ気管支炎 1例 (47歳女)

《土佐市民病院内科》：インフルエンザの1例はB型陽性

高知市：

《けら小児科・アレルギー科》：病原性大腸菌 1例 (0-8:4歳男) ベロ毒素陰性
アデノウイルス扁桃炎 1例 (2歳女)

中央東：

《あけぼの小児クリニック》：マイコプラズマ肺炎 1例 (4歳男)
《早明浦病院小児科》：発熱を伴い口腔内、四肢体幹に集積する水疱性発疹の出現する病態が乳幼児間で
流行中。ヘルパンギーナとして報告しているがウイルス分離は出来ていない。

全国情報第24週 (6/13～6/19) (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

2類感染症：結核372例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症96例 (有症者55例、うちHUS 2例、死亡1例)、
パラチフス1例

4類感染症：A型肝炎1例、つつが虫病11例、デング熱1例、日本紅斑熱2例、ボツリヌス症1例、マラリア4例、
レジオネラ症17例

5類感染症：アメーバ赤痢12例、ウイルス性肝炎 (B型) 4例、急性脳炎2例、クリプトスポリジウム1例、劇
症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群10例 (無症候9例、その他1例)、梅毒
10例、破傷風3例、風しん12例、麻しん18例

報告遅れ：腸チフス1例、つつが虫病1例、急性脳炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、風しん3例

◆手足口病

手足口病 (hand, foot, and mouth disease : HFMD) は、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心に主に夏季に流行する疾患である。病原ウイルスは主にコクサッキーA16 (CA16)、エンテロウイルス71 (EV71) であり、その他CA6、CA9やCA10などのエンテロウイルスによっても発症する。例年4月頃から患者数が増加し始め、流行のピークは7月の中旬か下旬となり、8月に入ると減少していく、という経過を辿る。

臨床的特徴であるが、感染から3～5日の潜伏期間の後に、口腔粘膜、手掌、足底や足背などの四肢末端に2～3mmの水疱性発疹が出現する。発熱は約3分の1に認められるが軽度であり、高熱が続くことは通常はない。本症は基本的には数日間の内に治癒する予後良好の疾患である。しかしながら、まれではあるが髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を呈することがある。

感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染であり、保育園や幼稚園などの乳幼児施設における感染予防は手洗いの励行と排泄物の適正な処理が基本となる。本疾患は主要症状が回復した後も比較的長期間に渡って児の便などからウイルスが排泄されることがあるが、基本的には軽症疾患であることを踏まえ、回復した児に対して長期間の欠席を求めることは現実的ではない。

感染症発生動向調査では、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいて手足口病をはじめとする各種小児科疾患の発生動向を分析している。手足口病の報告数は2011年第19週以降増加が続いており、第24週の定点当たり報告数は2.60 (報告数8,166) と前週 (定点当たり報告数1.68) よりも大きく増加し、過去10年間の同時期と比較して最も多い値であった。都道府県別では佐賀県 (12.3)、福岡県 (12.1)、島根県 (10.3)、岡山県 (9.4)、香川県 (8.9)、熊本県 (7.0)、徳島県 (6.8)、長崎県 (6.8) の順となっており、39都道府県で前週の報告数よりも増加がみられている。中国、四国、九州の西日本地域では流行が大きくなってきている一方で、東日本では定点当たり報告数が全国平均を大きく下回っている地域が大半である。

2011年第1～24週の定点当たり累積報告数は9.54 (累積報告数29,901) であり、年齢群別では0～1歳の報告割合が42.5%と例年と比べて高い割合となっている。手足口病の原因ウイルスは、CA16とEV71が代表的であるが、2011年は現時点 (2011年6月24日現在) では総検出報告数は82検体と少ないものの、CA6が患者から検出されたウイルスの半数近くを占めている。これまでのところ、手足口病の流行は西日本に偏っているが、流行地域では急激な増加を示している。臨床現場からは本年の手足口病は、従来の典型例と比べて発疹が大きく、四肢末端に限局せず広く範囲に認められる症例が目立つとの情報も寄せられている。手足口病の患者報告数は、今後夏季の流行のピークに向かって更に大きく増加していく可能性が高く、その流行の拡大には注意深い観察が必要である。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(25週)	高知県(26週未累計) H23/1/3~H23/7/3	
			中央東	高知市	中央西							
内科・小児科	インフルエンザ				2	5	1	8 (0.17)	3 (0.06)	849 (0.17)	12,332 (256.92)	
小児科	咽頭結膜熱			1				1 (0.03)	5 (0.17)	2,430 (0.77)	160 (5.33)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		63	18	1	8	11	101 (3.37)	78 (2.60)	6,616 (2.11)	1,420 (47.33)	
	感染性胃腸炎	2	10	28	4			48 (1.60)	77 (2.57)	13,897 (4.43)	5,934 (197.80)	
	水痘	3	1	13				21 (0.70)	24 (0.80)	5,186 (1.65)	1,217 (40.57)	
	手足口病	7	39	37	8	13	40	144 (4.80)	82 (2.73)	13,381 (4.27)	572 (19.07)	
	伝染性紅斑		2	6				8 (0.27)	17 (0.57)	4,618 (1.47)	215 (7.17)	
	突発性発疹	1	2	7	3	2	3	18 (0.60)	23 (0.77)	2,123 (0.68)	376 (12.53)	
	百日咳			1				1 (0.03)		131 (0.04)	11 (0.37)	
	ヘルパンギーナ	10	13	13	18	7		61 (2.03)	55 (1.83)	4,366 (1.39)	292 (9.73)	
	流行性耳下腺炎			4			1	5	10 (0.33)	16 (0.53)	3,318 (1.06)	197 (6.57)
	RSウイルス感染症									289 (0.09)	557 (18.57)	
眼科	急性出血性結膜炎									172 (0.25)	(0.00)	
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)		644 (0.95)	25 (8.33)	
基幹	細菌性髄膜炎									7 (0.02)	2 (0.29)	
	無菌性髄膜炎			1				1 (0.14)		21 (0.05)	11 (1.57)	
	マイコプラズマ肺炎						1	1 (0.14)	5 (0.71)	355 (0.77)	53 (7.57)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			2				2 (0.29)		15 (0.03)	5 (0.71)	
計 (小児科定点当たり人数)	23 (11.50)	130 (18.57)	132 (11.64)	36 (11.73)	36 (16.75)	69 (13.53)	426 (13.93)					
前週 (小児科定点当たり人数)	16 (8.00)	91 (13.00)	145 (12.73)	46 (15.20)	17 (8.00)	70 (14.00)		385 (12.63)	58,418	23,379 (621.95)		

定点当たり

第26週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(25週)	
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ				0.40	1.25	0.13	0.17	0.06	0.17	
小児科	咽頭結膜熱			0.09				0.03	0.17	0.77	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9.00	1.64	0.33	4.00	2.20	3.37	2.60	2.11	
	感染性胃腸炎	1.00	1.43	2.55	1.33		0.80	1.60	2.57	4.43	
	水痘	1.50	0.14	1.18			0.80	0.70	0.80	1.65	
	手足口病	3.50	5.57	3.36	2.67	6.50	8.00	4.80	2.73	4.27	
	伝染性紅斑		0.29	0.55				0.27	0.57	1.47	
	突発性発疹	0.50	0.29	0.64	1.00	1.00	0.60	0.60	0.77	0.68	
	百日咳			0.09				0.03		0.04	
	ヘルパンギーナ	5.00	1.86	1.18	6.00	3.50		2.03	1.83	1.39	
	流行性耳下腺炎			0.36			0.50	1.00	0.33	0.53	1.06
	RSウイルス感染症									0.09	
眼科	急性出血性結膜炎									0.25	
	流行性角結膜炎			1.00				0.33		0.95	
基幹	細菌性髄膜炎									0.02	
	無菌性髄膜炎			0.20				0.14		0.05	
	マイコプラズマ肺炎						1.00	0.14	0.71		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.40				0.29		0.03	
計 (小児科定点当たり人数)	11.50	18.57	11.64	11.73	16.75	13.53	13.93				
前週 (小児科定点当たり人数)	8.00	13.00	12.73	15.20	8.00	14.00		12.63			

2011年週報推移(定点当たり)

